

今後の方向性

- 令和6年度までにこれまでの議論に基づくメッセージを発信し、県民と方向性が共有された。
- 令和7年度以降は実行フェーズとして、様々な主体の連携・協働の促進や取組状況の発信等に取り組み、県民全体の機運醸成を図ることで、「学びの『新しい当たり前』を共に創る」ための取組を県下に拡大していく。

